

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

配布：13

回答：13

くれよんクラブ高萩

(公表日：令和5年3月7日)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13			
	②	職員の配置数は適切であるか	13			概ね1対1で対応できる配置としている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	3		車いす等、身体の障害がある児童対応可能かは要件等あり。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	13			活動や利用児によって環境設定を変えている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	13			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13			特別支援・保育所等訪問支援等では、支援評価を保護者に向けてのアンケートとして実施。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	1		毎年、法人のホームページにて掲載。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	4	1	法人内で5年に1度行う予定となっている為。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13			研修計画を作成し、研修受講実施。本人以降の確認も行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	1		全児、標準化されて指標（CARS2）を使いアセスメントを行っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13			
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	13			教材を児に合わせて作成。毎日の職員振り返りでアイデア検討、採用。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	13			特別支援の並行により個別支援を充実。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13			毎朝のミーティング当で情報共有、確認等を実施している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13			支援後に振り返りを行い、子どもの行動、職員の支援の良い部分に注目する目的で行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13			特別支援、場合により訪問支援では、ビデオ記録によるモニタリング実施。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11		2	サービス担当者会議がほぼ未実施な現状。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13			すこやかランドへの職員参加。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	4		保育所等訪問支援による連携実施。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11	3		病院を中心とした支援会議への積極的参加。コーディネーターとの情報共有。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13			定期的なカンファレンス。保育所等訪問支援での共有。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	2		学校より希望がある際には実施。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12		1	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	7		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	8	1	・地域自立支援協議会開催不明。 ・参加はしてないが、社会福祉課との情報共有あり。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13			
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	3	2	・特別支援利用保護者は、個別に相談、専門助言実施。お知らせにペアトレに基づく情報掲載。 ・令和5年4月より「クーピー」開催予定。保護者会にてペアトレ講座実施予定。
保護者への…	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13			
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13			
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13			・送迎時に保護者とのコミュニケーションを図る機会としている。 ・定期的な面談時間を確保、相談機会を作っている。 ・必要、希望により心理士対応。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	8	3	令和5年4月より保護者会「クーピー」開催予定。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
説明責任等	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13			
	③⑧ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	13			
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13			
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	5	コロナ状況踏まえ、検討。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12	1		
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13			月に1回実施。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	13			事前にマニュアルに沿った確認項目実施確認。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	3		病院での検査結果をもとに、完全除去の対応で提供。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13			
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13			職員全員参加で研修機会を儲る。虐待・身体拘束における委員会実施。
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12	1		くれよんクラブにおける身体拘束と捉えられる項目を文章化し、保護者へ説明、同意を得ている。

保護者等向け 児童発達支援評価表

配布数：12名

回答数：11名

くれよんクラブ高萩

(公表日：令和5年3月7日)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10			1	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			1	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(i)になっているか。また、障害の特に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10			1	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	10			1	
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(ii)が作成されているか	10			1	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11				・子どもに対して気になっている所を伸ばす支援計画を立てて頂き、子どもに成長が見られているので安心していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11				↓
	⑧	活動プログラム(iii)が固定化しないよう工夫されているか	11				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	5	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	1			
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(iv)等)が行われているか	7	1		3	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10		1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10		1		・いつも定期的に丁寧な面談をして下さるので安心して話すことができます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携を支援されているか	2	2	3	4	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	1			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1			
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11				・HPでどんなことをしているのかが見られるので、楽しく拝見しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10			1	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	11				
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11				ていて、毎朝「今日はくれよん？」と聞かれます。 ・毎日「くれよんに行く」と言っています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	11				・通所するようになってから、子どもから言葉がたくさん出るようになりうれしいです。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

配布：13名 回答：13名

くれよんクラブ高萩

(公表日：令和5年3月7日)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13			・環境設定を活動によって変えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	12	1		・概ね1体1で対応できる配置としている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	4		・車いす等、身体の障害がある児童対応可能かは要件等あり。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	13			・非常勤含め職員・支援会議への参加。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13			・保護者向けのアンケート実施。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	1		・毎年法人ホームページにて掲載。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	5	1	・法人内で5年に1度行う予定となっている為。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13			・研修計画を作成し、研修受講実施。本人意向の確認している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13			・全児、標準化された指標(CARS2)を使いアセスメントを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13			・教材を児に合わせて作成。毎日の職員振替りでアイデア検討、採用。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	13			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13			・特別支援の並行により個別支援を充実。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13			・特別支援・場合により訪問支援では、ビデオ記録によるモニタリング実施。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	11	2		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	1	1	・サービス担当者会議がほぼ未実施な現状。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	13			・特別支援学校とは定期的なカンファレンス実施。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10	3		・病院を中心とした支援会議への積極的参加。コーディネーターとの情報共有。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	13			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	7		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12		1	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	8		・コロナ前、実施あり。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	8	1	・地域自立支援協議会開催不明。 ・参加はないが、社会福祉課との情報共有あり。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	5	2	・特別支援利用保護者は、個別に相談、専門助言実施。お知らせにペアトレに基づく情報掲載。 ・令和5年4月より開催予定「クーピー」保護者会にて保護者に向けたペアトレ講座実施予定。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13			・定期的な面談により相談時を間設けている。 ・必要、希望に応じて心理士対応。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催すると等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	7	4	・令和5年4月より保護者会「クーピー」実施。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13			
	㉕	個人情報に十分注意しているか	13			・マニュアル作成。定期的な研修での注意喚起。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13			
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6	6	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	1		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12	1		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	3		・病院での検査結果をもとに、完全除去の対応で提供。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

配布数：12名 回答数：9名

くれよんクラブ高萩

(公表日：令和5年3月7日)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(i)が作成されているか	9			
	⑤	活動プログラム(ii)が固定化しないよう工夫されているか	9			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	2		・実施しているかどうか分かりません。コロナ禍で難しいと思います。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	1	・他の保護者の方とお話する機会がないので難しいと思います。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	9			
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	9			
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	9			・とても楽しみにしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9			・とても満足しています。

- i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇等の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。